

令和5年度 関市教育委員会会議 令和6年度使用小学校教科用図書採択理由

- ・日 時 令和5年7月26日(水) 15:30～
- ・場 所 関市役所 6階 6-2、7会議室
- ・出席者 教育委員会会議委員

教科(種目)	発行者	採択理由
国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年でも、「読むこと」から「書くこと」につながる言語活動が設定されているため、系統的・発展的な学びが実現できるよう、よく配慮されている。 ・また、QRコードがどの学年においても、およそ30収録されており、自分で調べる余地も残し、さらにイメージしやすい補助資料として活用でき、主体的に取り組む態度を生み出すことができるよう配慮してある。
書写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年においても各題材のはじめは、よい例と悪い例、形の違いを大きく示し、視覚的に比較がしやすく対話の焦点化を図っています。整った文字になるための理由を考えるようにしており、そのプロセスは、多様な対話の形式に対応している。 ・また、毛筆から硬筆へのつながりが確かめられるよう、ページ構成が大変配慮されている。
社会	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も最初の単元に問題解決的な学習の進め方を設定し、児童が問題意識をもって学習の進め方を学べるように工夫されています。児童自らの力で予想をもとに調べ、考えをまとめるという基礎的・基本的な力を育てていくうえで大変効果的な配慮がある。 ・「位置や広がり」「時間」といった児童が働かせるべき4種類の「社会的な見方・考え方」を一目で理解できるようにイラストの種類を変えて表示しています。これは、社会科を専門としない教師にとっても、授業で大切にすべき社会的な見方・考え方が明確になるため、大変配慮されている。

地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、災害と防災、産業、貿易、日本の歴史など幅広いテーマの資料図・統計を22ページにわたって掲載し、学習テーマに沿ってまわりの資料と比較・関連させながら学習できる構成になっている。 ・また、SDGsについては、持続可能な社会の実現に向けた課題や取組を理解できるよう特設ページを設けるとともに、11か所にSDGsに関連する写真や資料も位置付けられ、子どもたちが学びを広げることができるようよく配慮されている。
数学	大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間の構成「問題をつかもう・自分で考えよう―学び合おう―まとめよう・使ってみよう―ふりかえろう」と問題解決の流れが示されている。また、復習するとよいページ、補充問題のページを示すとともに、二次元コードからも復習ができるようになっている。児童が主体的・対話的に学習できるようよく配慮されている。
理科	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決学習が進めやすいよう、すべての単元の導入に問題をつかむための活動を、子どもの経験や実体験から設定しているまた、問題解決の過程で働かせる「理科の見方・考え方」をキャラクターとともに明示し、児童がそれらを意識しながら思考することで「深い学び」につながるように構成されている。
生活	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の学びから、生活科への学び、そして中学年の社会や理科へと系統的に広がっていくことを意識させる配慮がある。また、インクルーシブ教育の視点からも、多様な他者と協働する活動を随所に掲載している。 ・また、気付きの質が高まる姿を具体化し、深い学びの過程を例示している。板書のイラストでは、思考ツールを使って伝えたいことを整理する方法を示している。小見出しの前にその小単元で身に付けさせたい資質・能力が分かりやすくマークで示され、教師側にとっては指導と評価の一体化がより明瞭になっている。
音楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・何を学ぶのかが子供にも指導者にもわかりやすいよう系統的な主題による題材構成を主軸として学習が積み重ねられるよう、学びのつながりを意識して構成されている。 ・児童が自分で活用することのできる機能的なQRコードがどの学年にも掲載されており、多くのQRコードを鑑賞だけではなく、技能の習得、音楽づくりなど学習活動に沿って必要に応じて活用することができるようになっています。

図工	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの柱となる資質・能力を学習指導要領で改善された内容構成に即し5項目に細分化して示されている。このことにより児童自ら課題を見出し主体的に取り組む姿や、専門ではない指導者においても題材で育みたい資質・能力が具体的に理解でき評価につながるようよく配慮されている。 ・素材や作品が数多く紹介されたレイアウトになっている傾向が強く見られる。指導者にとっても表現の工夫が具体的に理解でき、資料づくり等に役立てることができるようになっている。
保健体育	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのステップ「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」で指導過程が構成されている。とくにステップ1において、写真等から課題を把握し、「何を学ぶのか」をつかみ見通しがもてるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツは、延べ93掲載されており、動画やシミュレーションなど、児童の健康保持増進への関心の高まる内容となっている。
家庭科	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力をバランスよく育むために、家庭科の学びを「見方、考え方をかえる」ととらえ、題材数を5年11題材、6年9題材として構成し、学校の実態に応じて学習の順序を入れ替えて学習することができるように、よく配慮されています。 ・また、巻末に栄養素の働きによる食品の分類のページが折りたたまれており、教科書の他ページを見ながら資料を活用するなど、工夫がされています。
外国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと（やりとり・発表）」の領域の言語活動を中心に、4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されている。大単元が3つあり、それぞれの大単元の中で5領域すべてを学習できるように設定されている。単元ごとに重点化領域が設定されていることにより、児童は単元でどんなことができればよいのかが分かり、学習の目標を明確にできるようによく配慮されている。
道徳	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年各教材の最初にリード文があり、全学年で読みもの教材に、「考えてみよう」と「見つめよう 生かそう」が位置付けられ、考えたことを、実際にどのように行動に移していったらよいのか見つめさせる展開工夫がなされている。 ・さらに「ぐっとふかめよう」において、道徳価値理解をもとに、多様な考え方や感じ方にふれ、多面的・多角的に考える工夫、さらに実際の行動に結びつけるための工夫がされており「実効性のある力の育成」を目指せるようよく配慮されている。